

第5回流山市医師会市民公開講座

生きること 愛すること



講師 大石 邦子氏 (エッセイスト)

人は誰しも、明日のことはわからない。わからないからこそ、生きてゆけるのかもしれない。私もまさか自分が、このような境涯になろうなどは、夢にも考えていなかった。

しかし、わたしの人生は一変する。二十二歳の朝だった。一瞬の事故で、半身麻痺の身となった。

人間は何故、こんなになってまで生きていなければならないのか。何のために、人間はこの世の中に生まれてくるのか。来る日も、来る日も、そのことばかり考えていた。しかし、分からなかった。あれから、遙かな歳月が過ぎた。父も母も亡くなった。

その間、この心と体で感じとめてきたことを少しお話してみたいと思う。生きるとは。愛するとは。いのちとは。

みなさんの心の扉を、そっと叩きながら…。

2015

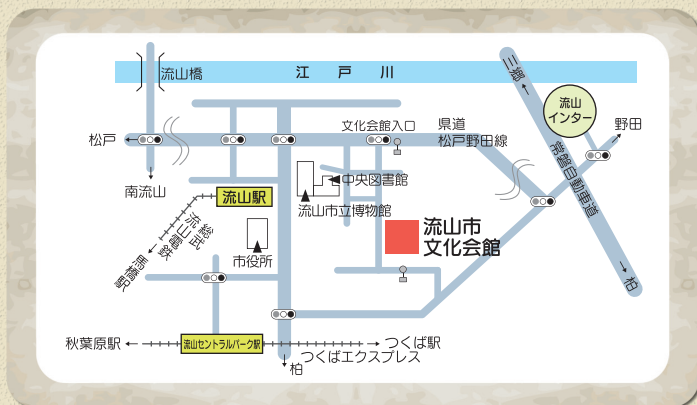
3月8日(日)

14:00~15:40

無料

定員 先着800名

会場 流山市文化会館 大ホール



大石 邦子 プロフィール



略歴

- 福島県会津本郷町(現会津美里町)に生まれる。
- 1961年 福島県立会津女子高等学校卒業
- 1964年 バスの衝撃に遭い、半身麻痺の身となる。
- 1967年 不治の宣告をうける。
- 1971年 麻痺のまま退院。静岡県熱海市にリハビリテーションのために
転地療養。5年間を過ごす。
- 1976年 会津の自宅に戻り、車椅子生活を続けながら、今日に至る。
- 2008年 新たにガンが見つかる。

主な著書

- | | | | |
|-------------|------|--------------------------|--------|
| 「この生命ある限り」 | 講談社刊 | 歌集「くちなしの花」 | 越後屋書房刊 |
| 「この愛なくば」 | 講談社刊 | 歌集「冬の虹」 | 歴史春秋社 |
| 「この胸に光は消えず」 | 講談社刊 | 児童文庫「野口英世」 | 歴史春秋社 |
| 「この窓の向こうへ」 | 講談社刊 | 「この生命を凍と生きる」 | 講談社刊 |
| 「私の中の愛と死」 | 講談社刊 | 「人は生きるために
生まれてきたのだから」 | 講談社刊 |
| 「遥かなる心の旅」 | 講談社刊 | | 他 |

その他

- 1978年 第2回、福島民報出版文化賞
- 1981年 文化庁芸術祭大賞・テレビドラマ原作
- 1983年 福島県文学賞 同年、皇居新年「歌会始の儀」に陪聴者として
招待を受ける。
- 1990年 福島県文化振興基金顕彰者表彰
- 1998年 NHK東北ふるさと賞受賞
- 2008年 福島県文化功労賞 受賞
- 2013年 文部科学大臣表彰(エッセイスト)

